

塩釜高等学校

校訓 「志」「伸」「和」「創」



1 基本データ

創立：平成22年
課程・学科：全日制課程・普通科、ビジネス科
生徒数：901名
所在地：
(西キャンパス：旧塩釜高校)
〒985-0056 塩竈市泉ヶ岡10-1
TEL：022-362-1011 FAX：022-362-0703
(東キャンパス：旧塩釜女子高校)
〒985-0056 塩竈市泉ヶ岡7-1
TEL：022-362-0188 FAX：022-362-0189

ホームページアドレス：
<https://shioko.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス
shioko@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：
両キャンパスともに
JR 仙石線 本塩釜駅又は西塩釜駅から徒歩10～15分
JR 東北本線 塩釜駅から徒歩10分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

発見！ になりたい私
～Two Campus
でかなえる夢～

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は、昭和18年に塩竈市立塩竈中学校として創設された塩釜高等学校と、昭和4年に塩竈実科高等女学校として設立された塩釜女子高等学校の、伝統校同士が平成22年4月に再編統合して開校した男女共学の高等学校です。

これまで地域社会の発展に貢献してきた両校の伝統を受け継ぐとともに、統合によってさらに大きく発展していくことを目指しています。また、統合にあわせて、塩釜高等学校商業科も平成22年度からビジネス科に学科改編して、共学に生まれ変わりました。

東西2つのキャンパスを有する大規模校で、生徒数は901名です(4月1日現在)。

名勝松島や塩釜湾(千賀の浦)に臨み、奥州一宮鹽竈神社を背にする、風光明媚な丘の上に2つのキャンパスが近接して建てられています。

普通科「総合的な探究の時間」では、令和7年度より「my 塩竈」と題して地域をフィールドにした探究活動を展開しています。探究のプロセスを「about 塩竈、in 塩竈、for 塩竈、with 塩竈」の4つの段階に分け、塩竈の町と自分自身とのつながりを意識して、高校生ならではの目線でテーマを設定し取り組んでいます。

(2) 教育方針

「志」「伸」「和」「創」が校訓です。
「志」：遠大な志を持ち、素直に勉勵する
「伸」：個性を伸ばし、特色ある人物となる
「和」：和らぎの心を旨とし、自他の人格を尊重する
「創」：物事に意欲を燃やし、知性の開発と創意工夫に心がける

(3) 教育課程の特色

大学・短大・専門学校などへの進学、そして公務員や民間就職など、多様な進路に対応したカリキュラムを編成しています。

また、進路目標に合わせた選択科目の設置や、学力向上を目指したオンライン学習ツールを活用しています。

<普通科>

1年次では基礎学力の定着を重視し、2年次では進路希望に合わせて科目を選択し、履修します。3年次では様々な選択科目の中から自分の進路希望に応じた科目を選びます。

総合的な探究の時間では、1年次は「my 塩竈」と題して、塩竈市をフィールドに探究活動の流れや手法を学びます。その後2年次以降は、生徒自身の興味のあるテーマを自由に設定し、探究活動を進めます。ゼミ形式の少人数で、担当の先生のアドバイスの下、探究活動を行うのも特徴です。探究活動の成果を生かして、大学や短期大学へ進学する生徒も増えてきています。

<ビジネス科>

商業科目の基礎・基本から応用学習までビジネスの実践に対応するスキルを身につけるため、資格取得や実践的・体験的な学習を展開しています。

2年次マーケティングでは地元企業の商品プロモーションを行い、販売まで取り組む学習や、3年次課題研究では地元企業や塩竈市から課せられた課題解決に取り組んでいます。

資格取得では全国商業高等学校協会主催の検定試験1級7種目に合格した生徒や、日本商工会議所主催簿記検定やリテール・マーケティング検定に合格する生徒が多数います。

また、令和6年度より台湾の高校と学校交流に取り組んでおり、これから海外の方と関わる機会が増える時代に対応できるように国際交流にも力を入れております。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

学校行事・生徒会活動・部活動については、生徒の主体性・社会性を伸ばさせることを目的とし、地域に密着した活動を行っています。例年生徒会行事では、「塩高祭」「体育祭」が大いに盛り上がります。

ビジネス科では、電卓で全国大会に出場するなど、日頃の成果を大いに発揮しています。部活動は運動部・文化部ともに大変活発で、東西両キャンパスを使い活動をしています。

令和7年度は、ローイング部・パソコン・ビジネス部・文芸部が全国大会出場、水泳部・弓道部・ヨット部が東北大会に出場を果たすなど、多くの部が活躍しています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R7	R6	R5
国公立大学	1	2	0
国公立短大	1	0	0
私立大学	91	99	103
私立短大	15	15	16
専各学校	109	128	126
就職	73	55	87
その他	6	8	16
卒業生計	296	307	348

主な進路先(令和8年3月卒業生)、

()内は人数 (1)は省略。

<公立大学>山形県立保健医療大学

<私立大学>東北学院大学(25)、東北福祉大学(12)、仙台大学(2)、東北工業大学(8)、

宮城学院女子大学(9)、尚絅学院大学(9)、石

巻専修大学(1)、東北文化学園大学(8)、

仙台青葉学院大学(3)、東北医科薬科大学(2)、

日本国際学園大学(3)、専修大学、

東北芸術工科大学、千葉商科大学、日本体育

大学、尚美学園大学、日本医療科学大学、麗

澤大学、京都芸術大学

<公立短大>会津大学短期大学部

<私立短大>仙台青葉学院大学(11)、聖和学

園短期大学(3)、仙台赤門短期大学

<専修各種学校>仙台徳洲看護専門学校(2)、

仙台市医師会看護専門学校、委員会看護専

門学校、昭和医科大学附属看護専門学校、

SENDAI 中央理容美容専門学校(9)、仙台大原

簿記情報公務員専門学校(8)、仙台理容美容

専門学校(6)、専門学校デジタルアーツ仙台(6)、

東北電子専門学校(6)、仙台ECO動物海洋専

門学校(5)、仙台工科専門学校(4)、仙台こども

専門学校(4)、宮城調理製菓専門学校(4)他

<就職>宮城県警察、塩竈市役所、多賀城市

役所、陸上自衛隊(3)、仙台銀行、北日本銀行、

日本郵便、アイリスオーヤマ(2)、塩釜ガス(4)、

やまや(4)、ASKUL LOGIST(2)、シーレックス

(2)、水野水産(2)、カメイ物流サービス、グ

ローテック、スギ製菓、ゼライス、東北大蔵

電気、白石食品、パンセ、ミネベアコネク

トヨタレンタリース宮城、宮城三菱自動車、

利久、プリンス食品、日東インダ 他

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

ローイング部、2年連続インターハイ出場！

ビジネス科 鈴木 美優さん

私たちローイング部は全国大会で入賞することを目標に、日々練習に励んでいます。令和7年度は県高校総体で女子舵手つきクォドルブルという種目で優勝し、2年連続で東北大会、インターハイ出場を決めました。6月に青森県で行われた東北大会では、昨年度に先輩たちが同じ種目で優勝していることもあり、プレッシャーと緊張で押しつぶされそうになりましたが、仲間と声を掛け合い、2年連続で優勝することができました。8月に広島県で行われたインターハイでは、予選から厳しい組み合わせに入ってしまう、敗者復活戦へまわりました。それでも自分たちがこれまで練習してきたことを信じ、レースに臨むことができたのは信頼できるチームメンバーや、熱心に指導してくれる顧問の先生、応援してくれる家族の支えがあったからだと改めて感じました。昨年度、先輩たちが果たせなかった準決勝進出は今年も果たすことができませんでしたが、次の大会ではさらに成長した姿を見せたいという強い思いが生まれました。この経験を糧に、今後もより多くの人に応援していただけるローイング部を目指していきます。

韓国との国際交流でお互いの理解を深める

ビジネス科 高橋 未来さん

私は、7月に開催された韓国の皆さんとの国際交流に参加しました。私は以前、台湾の方々に塩釜をご案内した経験があり、その際の知識を活かしてスムーズに準備を進めることができました。しかし、今回は初めて「松島」の案内を担当することになり、瑞巖寺や円通院といった歴史のスポットを紹介することになりました。

松島の深い歴史や震災の記憶など、伝えるべき情報が多いため、まずは自分たちが現地のガイドさんから学び、事前学習を徹底しました。また、相手の文化を尊重したいという思いから、韓国語講座を開くなど入念な準備を重ねて当日を迎えました。

「時間通りちゃんと行動できるだろうか」や「ガイド内容がちゃんと伝わるのだろうか」という不安もありましたが、実際にお会いすると日本語が堪能な方が多く、熱心に質問をしてくださる姿に感激しました。この経験を通じ、地域の魅力を再発見できただけでなく、異文化に触れることで自分の世界が大きく広がることを実感しました。皆さんも機会があれば、ぜひ積極的に国際交流に挑戦してみてください。

全商英語スピーチコンテスト全国大会出場！

ビジネス科 石木田 寧音さん

私は9月、東京都の全商会館で開催された「全国商業高等学校英語スピーチコンテスト」に出場しました。この大会への切符を掴むためには、県大会で1位になることが必須条件でした。正直なところ、私はもともと英語が得意だったわけではなく、むしろ苦手意識がある中でのスタートでした。「塩釜高校」という母校の看板を背負うことに大きなプレッシャーも感じましたが、それを誇りに変えて練習に励んだ結果、県大会で最優秀賞を受賞することができました。しかし、全国大会の舞台は別世界でした。宮城県大会とは比較にならないほどの緊張感に圧倒され、周りのレベルの高さに驚きました。どの出場者も、ただ英語が流暢だけでなく、自分の考えや価値観を「自分の言葉」として堂々と表現していました。その姿を見て、英語は単なる「教科」や「目的」ではなく、自分の想いを届けるための大切な「手段」なのだと思えました。この高いレベルの舞台を経験したからこそ、今の自分に足りない課題を冷静に見つめ直すことができたと感じています。最初は右も左も分からず不安な日々でしたが、何度も練習を繰り返すことで、その不安は少しずつ自信へと変わっていきました。「挑戦し、努力し続けること」が、確かな自信を生むのだと身を持って学ぶことができました。今年度は、昨年の全国大会で一步届かなかった「入賞」という目標を必ず達成できるよう、さらに努力を重ねていきたいです。

(2) 本校の行事



8月29・30日の2日間にわたり『塩高祭』を開催しました。1日目の校内発表では、吹奏楽部・ダンス部・音楽部などが日頃の練習の成果を存分に披露し、全校生徒が一体となって楽しみました。2日目の一般公開では、各クラスの模擬店に加え、PTA



や塩釜市によるブースも出展。前日を上回る活気に包まれ、大盛況のうちに幕を閉じました。

(3) 施設紹介

東西2つのキャンパスに、それぞれ図書館・プール・体育館などがあり、通常の2倍ある施設を生かし、のびのびと活動することができます。



4 在校生からのメッセージ

生徒会長 柿崎 莉愛奈さん

本校は、旧塩釜高等学校の〈西キャンパス〉と旧塩釜女子高等学校の〈東キャンパス〉という、歴史ある2つの校舎を統合・活用し、それぞれの良さを活かした充実した学習環境を整えています。どちらのキャンパスも落ち着いた雰囲気にも包まれており、安心して日々の学校生活を送り、自らの可能性を最大限に伸ばせる場所です。広々とした教室はもちろん、専門的な学びに特化した最新の施設も完備しており、好奇心を刺激し、集中して授業に取り組める環境が整っていることも、本校の大きな自慢の一つです。学科は、皆さんの将来の夢や適性に合わせて学ぶことができる「普通科」と「ビジネス科」の2つがあります。「普通科」では、国語・数学・英語といった基礎学力を着実に身につけ、さらに自らの興味・関心に応じて応用力や思考力を深めることができます。国立大学への進学をはじめ、幅広い進路に対応したきめ細やかな指導を行っています。一方、「ビジネス科」では、簿記、情報処理、ビジネスマナーなど、社会に出て即戦力として活躍できる実践的な知識や技術を学ぶことができます。各種資格取得も学校全体で強力にバックアップしており、自信を持って将来のステップへと進むことができます。さらに、本校は国際交流にも力を入れており、台湾や韓国の生徒の皆さんとの交流を通じて、グローバルな視点と豊かな国際感覚を養う機会も設けています。このように、自分の目標や興味に合わせて多様な学びの形を選び、主体的に成長できる環境が整っている点が塩釜高校の大きな魅力です。私たちは、皆さんがそれぞれの夢に向かって挑戦し、輝けるよう全力で応援します。ぜひ、この歴史と伝統、そして新しい可能性に満ちた塩釜高校で一緒にかけがえのない青春の1ページを刻みましょう。